

【天国への手紙

2020年9月20日放送分】

おばちゃんへ

ラジオネーム：ミヤコ

おばちゃんとは月に1度は会っていましたね。

電話でもお話をしたり、

亡くなる前の日にもメールをしていたので、

急なお別れはとても辛く、

しばらく気持ちの整理をつけることができませんでした。

おばちゃん、1年以上病院に行っていなかったんだね。

そこまで深刻な症状ではなかったけれど、

ちゃんと通って検査をしてもらっているものだと

思っていました。

向こうに行ったらきっと、おじさんもいるのかな？

そちらでも2人で仲良く過ごしてください。

そして、私の母さんにも会えるのでしょうか。

私は母さんが亡くなってから、

おばちゃんのことを母親代わりに生きてきました。

姉妹だけあって、目元と声がそっくりで、

「母さんが生きていたら、こんな顔になっていたのかな」とか、

「他人から見たら、私とおばちゃんが並んでいる姿は、

親子に見えるんだろうな」などと、考えていました。
いつの間にか、おばちゃんとお過ごした時間の方が長くなり、
何でもお話しさせてもらってきました。
もっともっとお話したかった。

私の子供たちのことを、自分の“孫”ように可愛がってくれました。
その“孫”の結婚式にも出席して欲しかった。

将来、私の孫、おばちゃんの“ひ孫”も抱いて欲しかった。

私はこれから数十年、楽しいこと、大変なこと、

まだまだたくさんことがあります。

少しでもたくさん思い出を作って

おばちゃんとお話をしたいと思っています。

また伝えたいことができたらお手紙も書きますね。

リクエスト曲

へ 紙風船 / 赤い鳥 へ